

# 交渉速報

J R 貨物労組中央本部業務部

2022年3月17日

No.14

## 2022 JR 総連春闘 妥結

# 基本給×0.1%のベア実施！！

### ＜申第6号 妥結内容＞

- 昇給額表による昇給の実施（平均4,116円 1.70%）
- ベースアップとして基本給×0.1%（平均300円）実施
- プロフェッショナル職群の高卒初任給を2,000円引き上げ  
※ベースアップとの重複支給は行なわない
- 契約社員の基本給を昇給分（1.70%）に0.1%を加えて賃上げを実施

### ＜申第7号 諸要求については以下の項目の前進を確認＞

- ・新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応（発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛等）により出勤できない場合の勤務認証を「障害」とすることを検討する。
- ・その他、人事制度に関する事項、職場環境改善要求等については、引き続き交渉を行なうことを確認。  
※詳細については別途整理

## ～2022 JR 総連春闘交渉 最終報告～

中央本部は第3回交渉以降、断続的に労使協議を行ない、本日19時から最終交渉に臨みました。席上会社は、①ベースアップとして2022年7月1日現在(昇給前)の基本給に0.1%を乗じた額を加える。②プロフェッショナル職群の高卒初任給を2,000円引き上げ168,000円とする。③基本給表の「最低額」「基準額」をベースアップに準じて改定する。④契約社員、シニア社員の賃金を改定すると回答しました。

また、諸要求については、①新型コロナウイルスワクチンを接種した後に副反応により出勤できない場合の勤務認証を「障害」とすることを検討する。②人事制度に関する事項など引き続き交渉を行なうことを明らかにしました。

会社の回答に対して中央本部は、①ひっ迫する要員需給について、会社は引き続き新規採用をはじめ、あらゆる施策を講じて適正な要員を確保すること。②新型コロナウイルス感染防止に有効な対策を積極的に行なうこと。また、感染者・濃厚接触者が多く発生した場合の具体的対策を検討すること。③女性用浴室や女性用トイレなどの設備は計画的に改善が進められているが、引き続き設備の充実をはかっていくこと。④災害などが発生した場合に迅速な休活判断を行なっていくことを求め、会社はそれぞれできる対策を講じていくと回答を示しました。

2月16日に新賃金および諸要求を申し入れて以降、ベア獲得にこだわり各級機関において様々な闘いをつくり出し、組織が一体となって闘いを推し進めてきました。その結果、昇給額表に応じた昇給の実施と、基本給×0.1%のベースアップ、諸要求の前進を勝ち取ることができました。

職場からは人事制度の不平・不満が出されており、公平・公正な評価制度の確立と組合員が生き生きと働き続ける賃金制度となるよう、引き続き会社と協議して改善を進めていきます。今春闘をしっかりと総括し、更なる組織の強化を勝ち取るために奮闘します！中央本部はその最先頭で闘うことを明らかにして、2022 JR 総連春闘交渉の最終報告とします。

以上